

# 平成29年青森県花き生産状況

農産園芸課

## 1 概況

平成29年の本県花きの生産状況は、作付面積が112ヘクタール（前年比93%）で、前年に比べ9ヘクタールの減少、生産数量が2,355万本・鉢（同95%）で、前年に比べ約116万本・鉢の減少、産出額が19億5,700万円（同101%）で、前年に比べ約2,800万円の増加となった。また、栽培農家数は830戸（同94%）と、前年に比べ56戸減少した。

これらの要因として、生産者の高齢化や家族労働力の減少、野菜への作付転換、取引単価の変動などが影響したと考えられる。

表1 生産状況

（単位：ha、千本・鉢、百万円、戸、%）

年次 \ 項目	作付面積	生産数量	産出額	栽培戸数
29年	112	23,554	1,957	830
28年	121	24,716	1,929	886
29年/28年	93	95	101	94

【農産園芸課調べ】

## 2 作付面積

### (1) 切花類

切花類の作付面積は約88ヘクタール（前年比92%）で、前年より約8ヘクタール減少した。

品目別では、キク類（大中輪ギク、小ギク、スプレーギク）が約19ヘクタールと最も多く、全体の17パーセントを占めた。次いで、サクラ（枝物）が約14ヘクタール、トルコギキョウ約10ヘクタール、ヒマワリ約4ヘクタール、バラ約2ヘクタールの順となった。

トルコギキョウ、アルストロメリア、カンパニュラ等が増加したものの、キク類、サクラ、ヒマワリ、バラ等が減少した。

### (2) 鉢もの類

鉢もの類の作付面積は約10ヘクタール（同98%）で、前年より0.3ヘクタール減少した。

品目別では、シクラメンが約2ヘクタールで最も多く、次いでサクラソウが1.2ヘクタール、ポットローズが0.8ヘクタールとなった。

(3) 苗もの類

苗もの類の作付面積は約5ヘクタール（同94%）で、前年より0.4ヘクタール減少した。

表2 作付面積

(単位：a, %)

区別	年次		年次		29/28	
	29年	割合	28年	割合		
切花類	8,824	79	9,634	80	92	
主要品目	キク類	1,927	17	1,999	17	96
	サクラ（枝物）	1,421	13	1,455	12	98
	トルコギキョウ	976	9	953	8	102
	ヒマワリ	378	3	464	4	81
	バラ	246	2	265	2	93
	リンドウ	207	2	213	2	97
	アルストロメリア	185	2	182	2	102
	カンパニュラ	144	1	133	1	108
	ストック	118	1	136	1	87
	ユリ類	110	1	118	1	93
	カーネーション	110	1	110	1	100
	宿根カスミソウ	100	1	154	1	65
	アスター	86	1	114	1	75
	デルフィニウム	85	1	91	1	93
	グラジオラス	62	1	99	1	63
鉢もの類	1,024	9	1,049	9	98	
主要品目	シクラメン	215	2	198	2	109
	サクラソウ	124	1	104	1	119
	ポットローズ	75	1	100	1	75
苗もの類	513	5	548	5	94	
花木類	423	4	383	3	110	
芝類	400	4	400	3	100	
球根類	50	0.4	50	0	100	
合計	11,234	100	12,064	100	93	

【農産園芸課調べ】

重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

### 3 産出額

#### (1) 切花類

切花類の産出額は11億9,400万円（前年比109%）で、前年より1億100万円増加した。

品目別では、トルコギキョウが2億9,300万円（同208%）と最も多く、全体の15パーセントを占めた。次いで、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク)が2億7,500万円（同83%）、アルストロメリアが1億2,000万円（同98%）、バラが1億1,600万円（同110%）、ヒマワリが3,700万円（同148%）、カンパニュラが3,200万円（同103%）の順となった。

キク類、アルストロメリア等は減少したが、トルコギキョウ、バラ、ヒマワリ、カ

ンパニユラ等は増加した。

(2) 鉢ものの類

鉢ものの類の産出額は4億9,900万円(同93%)で、前年より3,500万円減少した。

品目別では、ポットローズが1億1,300万円と最も多く、次いでシクラメンが6,700万円、サクラソウが3,600万円となった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の産出額は1億1,400万円(同76%)で、前年より3,600万円減少した。

表3 産出額

(単位：百万円，%)

区別	年次		年次		29/28	
	29年	割合	28年	割合		
切花類	1,194	61	1,093	57	109	
トルコギキョウ	293	15	141	7	208	
キク類	275	14	332	17	83	
アルストロメリア	120	6	123	6	98	
バラ	116	6	105	5	110	
ヒマワリ	37	2	25	1	148	
カンパニユラ	32	2	31	2	103	
ユリ類	20	1	23	1	87	
宿根カスミソウ	18	1	21	1	86	
ストック	14	1	11	1	127	
アスター	13	0.7	6	0.3	217	
サクラ	9	0.5	6	0.3	150	
カーネーション	8	0.4	9	0.5	89	
リンドウ	8	0.4	7	0.4	114	
デルフィニウム	7	0.4	7	0.4	100	
チューリップ	6	0.3	7	0.4	86	
グラジオラス	3	0.2	4	0.2	75	
鉢ものの類	499	25	534	28	93	
主 要 品 目	ポットローズ	113	6	156	8	72
	シクラメン	67	3	61	3	110
	サクラソウ	36	2	38	2	95
苗ものの類	114	6	150	8	76	
花木類	95	5	95	5	100	
芝類	54	3	55	3	98	
球根類	1	0.1	1	0.1	100	
合計	1,957	100	1,929	100	101	

【農産園芸課調べ】

：重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

#### 4 地域別の生産状況

##### (1) 作付面積

平成29年の作付面積は、前年と比較して下北地域で増加したものの、他の地域では減少した。

地域別では、中南地域が約36ヘクタールで全体の32パーセントを占め、次いで三八地域が約33ヘクタール、東青地域が約21ヘクタール、西北地域が約18ヘクタール、上北地域が約4ヘクタール、下北地域が0.7ヘクタールとなった。

##### (2) 産出額

平成29年の産出額は、中南地域が6億7,300万円で最も多く、次いで三八地域が5億8,400万円、西北地域が3億6,500万円、上北地域が2億8,500万円となった。

なお、上北地域は、ポットローズ等の鉢ものの生産により作付面積は約4ヘクタールと少ないものの、産出額は多くなっている。

表4 地域別生産状況

(単位:a、%、百万円)

地域	作付面積					産出額			主な品目
	29年	割合	28年	割合	29/28	29年	28年	29/28	
東青	2,104	19	2,158	18	98	47	52	90	キク、トルコギキョウ、カーネーション、デルフィニウム、宿根スターチス
中南	3,550	32	3,573	30	99	673	556	121	アルストロメリア、トルコギキョウ、キク、バラ、サクラソウ
三八	3,315	30	3,957	33	84	584	619	94	キク、カンパニュラ、ユリ類、シクラメン、トルコギキョウ
西北	1,760	16	1,835	15	96	365	346	105	キク、トルコギキョウ、バラ、宿根カスミソウ、シクラメン
上北	437	4	491	4	89	285	353	81	ポットローズ、カランコエ、観葉植物、バラ、ポインセチア
下北	67	0.6	51	0.4	132	2.6	2.5	104	キク、アスター、トルコギキョウ
合計	11,234	100	12,064	100	93	1,957	1,929	101	

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

## 5 バケツ出荷の状況

切花の鮮度保持のために近年主流となりつつあるバケツ出荷は、県内のJA花き部会を中心に実施されており、年々増加している。

品目別では、カンパニュラはバケツによる出荷量が約60万本とほぼ全量で行われているほか、バラは約65万本で53パーセント、トルコギキョウは約58万本で31パーセント、カーネーションは約10万本で50パーセントなどとなっている。

表5 切花類のバケツ出荷状況

(単位：a、千本、%)

品目	施設・露地栽培計			
	作付面積	生産数量	バケツ出荷量	バケツ出荷率
バラ	246	1,217	649	53.3
カンパニュラ	144	600	599	99.8
トルコギキョウ	976	1,894	580	30.6
カーネーション	110	194	98	50.4
キンギョソウ	42	118	61	51.8
デルフィニウム	85	59	44	74.3
その他	588	1,017	70	6.9
合計	2,191	5,099	2,101	41.2

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

## 6 JAの花き生産の状況 (JA全農あおもり取扱状況)

### (1) 花き取扱状況

JA全農あおもりの平成29年花き取扱量(県内JAの全取扱数量)は、前年並みの約803万本(前年比100%)となった。

また販売額は6億2,700万円(同104%)と前年より2,400万円増加した。

### (2) 販売額割合

JA全農あおもりの県内花き産出額に占める販売額のシェアは32パーセントとなり、前年より1ポイント上昇した。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

(単位：千本、百万円、円、%)

項目 年次	農協数	数量	販売額	単価	シェア
29年	10	8,028	627	78	32
28年	10	8,031	603	75	31
29年/28年		100	104	104	102

【JA全農あおもり調べ】

(注) シェア：(JA全農あおもり販売額÷県産出額)×100

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。